

第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

団体名	NPO 法人エコ・地域文化研究会
活動タイトル	住民参加による黄花ツバキの保全活動（育苗・栽培試験）
活動地域	ベトナムゲアン省クエホン県



① 育苗風景 2023年4月24日



② 苗木の観察（第1回）2023年5月29日



③ 苗木の観察（第2回）2023年8月20日

【団体概要】

私たちは、食文化や伝統工芸品を支える動植物資源を保全・活用し、これらを通じた地域振興を地元の方々と行うことを目的に、活動を行っている団体です。現在の活動の拠点はベトナムクエホン県です。高値で流通している黄花ツバキを通じた里山保全と地域の生計向上を目指しています。今は同植物の生態調査と学術誌等による情報発信を中心に活動を展開中です。

【活動の目的・目標】

黄花ツバキは対象地域に固有の植物ですが、無秩序な収穫により、資源量の枯渇が懸念されています。適正な林産活動の実施と、本種の保全を目的として以下の活動を実施中です。①増殖技術の導入、②地域住民への持続可能な利用に対する理解の増進、③都市域住民への保全意識の醸成。

【今回の活動で苦労した/工夫したこと】

当初は挿し木による増殖のみを計画していましたが、初年度より技術構築を成し得る保証はありません。そこで、自然界では自然に淘汰されてしまう実生に対し、その生存率を高めることを目的に、「苗床での実生の栽培」を、「挿し木による増殖」に加えて導入することとしました。

【活動の内容・成果】

開催回数：3回

参加人数：延べ 会員6、一般121、協力者7

達成率：40%

同県 Thong Thu で実生の増殖を行っている Tuan さん一家を4月に訪問し、共同で保全活動を実施することを協議・決定した。

1) Tuan 氏苗床訪問（4月24日）：＜参加者＞地元の専門家 Cuong 氏、会員2名、Tuan 氏他1名共同育苗について協議を行う。

2) 苗木生育状況観察（5月29日）：＜参加者＞1)に同じ。苗木計測及び温度・湿度センサー設置。

3) 苗木生育状況観察（8月20日）：＜参加者＞1)に加え、協力者として Chau 氏、Hoang 氏参加。第2回苗木計測。

第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

こちらに、1ページ目の以外の活動写真を添付し、右側に説明をご記入下さい。



2023年4月25日、①以外の Tuan 氏の苗床。移植した実生は計 600 個体。写真は Tuan 氏（写真①の向かって左の方に同じ）。



2023年5月29日、苗床に設置した温度・湿度センサー（活動の内容・成果参照）。



2023年8月20日、会の活動の理念に賛同し、保全活動に参加してくれた Chau 氏（手前）と Hoang 氏（奥）。苗木計測のために苗床から苗木を運びだす両氏（写真③の左右が両氏、写真③の中央は当会の会員の Dong）。



2023年8月20日、育苗について議論する Tuan 氏の父（左）と地元の専門家 Cuong 氏：黄花ツバキ茶（金花茶）加工業者（右）。